

平成15年は、アイヌ民族に伝えられるカムイ・ユカラを初めて日本語に訳した『アイヌ神謡集』を残し、19歳の若さでこの世を去った知里幸恵さんの生誕100年にあたります。

昨年は、彼女の偉業を多くの市民のみなさんに知っていただくために、『知里幸恵・真志保ゆかりの地マップ』や登別駅前に案内板の設置、アルバム『銀のしずく』でデビューした木村弓さんのコンサート費用の一部助成などを行いました。



今年は、市民団体が開催する記念フォーラムや幸恵の遺品の展示などへの支援を行います。
(事業費は、100万円)

知里幸恵生誕100周年記念事業補助金
問い合わせ 企画課 (☎85 1 1 2 2)

1

現在の火葬場は、昭和48年からの供用で、施設全体が老朽化しているため、平成14・15年度の2カ年でこれを建て替えるものです。

新火葬場は、富浦町186番地に敷地面積3万1,159平方メートル、床面積は現火葬場の約4倍の1,697平方メートルで、鉄筋コンクリート造り一部2階建て。28畳の待合室を3室備え、敷地内には日本庭園を設けます。

工事は、昨年12月から着手し、平成15年度は、建築主体工事や電気設備、給排水設備などを行い、平成16年2月に完成、同年4月から利用いただく予定です。

(平成15年度事業費は、9億1,288万円)



新火葬場完成予想図



火葬場建替事業費

問い合わせ 市民課 (☎85 1 8 5 5)

2

(仮称)登別温泉ふれあいセンター整備事業費
問い合わせ 観光室 (☎84 2 0 1 8)

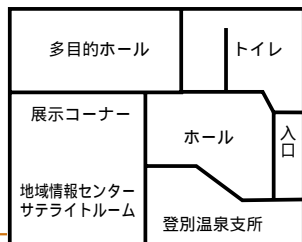
3

現在閉鎖中の旧登別温泉科学館は、内外装を整備し、多目的なコミュニティーセンターに生まれ変わります。

同館を再利用することで、支所機能の充実や図書館機能の整備、情報センター的機能を持たせるとともに床を平らにし、オストメイト対応トイレを設置するなど公共施設として、地域住民の利便性や観光客へのサービス、景観の向上を図ります。

同センターには、登別温泉支所や観光資料の展示、地域情報センターサテライトルーム、多目的ホール、図書館機能などを備えた登別温泉地域の多目的公共施設として、整備します。

オープンは、8月1日を予定としています。
(事業費は、1,089万円)



新市民プール建設事業費

問い合わせ 社会教育課 (☎88 1129)

4

現在の市民プールは、昭和50年2月から利用され28年が経過し、老朽化が著しいことから新市民プールの建設を進めています。

新市民プールは、幼児から高齢者、障害のある方までの幅広いニーズに対応できる水の効能を生かした健康増進機能をもつ生涯スポーツ施設として、建設します。

新市民プールの概要は、25メートル公認プール(7コース)や水深を調整できる多目的プール、水中ウオーキング



ができるだ円形の流水プール、寝そべることのできるリラクゼーションプールのほか、しんた21内のトレーニングルームにある全設備を移設し、トレーニング室も完備します。また、全館バリアフリーとし、各種健康教室も充実させます。

平成15年度は、建物工事や機械設備工事、電気設備、外構工事などを行い、オープンは平成16年5月末を予定しています。

(平成15年度事業費は、12億7,939万円)